

お知らせ

■発行：医療法人青木会 ■発行人：青木悟
 ■編集者：臼杵壮志 ■編集：広報委員会
 ■内容に関するお問い合わせは地域連携室まで
 TEL: 048-423-0293

私たちは 地域のみなさまの 良質で安心・安全な 医療・介護への求めに「技」と「心」で応え
 全ての方が満足し納得できる 医療・介護を提供いたします。

あおきだより

2019. 6月発行 (隔月発行)

Vol. 20

居宅介護支援事業所 あおぞら西浦和

新たな居宅介護支援事業所

「あおぞら西浦和」を開業いたしました。
 4月1日付けで、さいたま市南区松本に「居宅介護支援事業所あおぞら西浦和」を新規開設いたしました。
 青木会はさいたま市・川口市で3つの居宅介護支援事業所を運営しており、これで4つ目の居宅支援事業所となります。
 事業所の向かいには「サービス付き高齢者向け住宅 リハビリの家西浦和」があり、各施設とも連携を図りながら地域の皆様と近い存在でいられる事業所を目指してまいります。
 今後とも、地域での支援に力を注げるよう日々努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事業所名：居宅介護支援事業所 あおぞら西浦和
 所在地：さいたま市南区松本1-16-5



西浦和ハイツ101
 TEL: 048-762-8020
 FAX: 048-762-8196

居宅介護支援事業所 あおぞら中央

平素より大変お世話になり、感謝申し上げます。
 平成25年10月に川口市柳崎に居宅支援事業所を開設してから5年半が経ち、この度平成31年4月1日付けでさいたま市南区に移転・開設いたしました。
 医療法人が母体の事業所ですので、医療依存度の高い方でも在宅生活が継続できますよう、今後も医療関係者との連携も十分に図り、支援を行ってまいります。何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。明るく元気に笑顔で対応させていただきます。
 どうぞ、よろしくお願いいたします。
 移転先
 所在地：さいたま市南区円正寺518-5
 TEL: 048-799-3132
 FAX: 048-799-3238

青木体操教室



座った状態での腕・脚の体操に加え、立った状態での筋カトレニングやバランス練習(片脚立ちなど)を行います。

開催日時：毎週土曜日 14:00~14:50
 場所：青木中央クリニック2階 リハビリ室
 参加費：無料
 動きやすい服装でお越しください！
 介護予防に貢献します！

新入職員(常勤)のご紹介

青木中央クリニック

前原 秀二 (整形外科医師)
 藤井 茂 大内 勇人 櫻井 大輝 古久保 美咲 (理学療法士)
 岸 冬萌 (作業療法士) 田村 奈津紀 (言語聴覚士)
 堀池 香菜 (歯科衛生士) 三枝 礼佳 (管理栄養士)

青木医院

林下 丈和 和田 基 (理学療法士)
 林 有花 (事務職)

あおぞら中央

庄司 奈々子 (介護支援専門員)
 山本 聡 (介護福祉士)

青木リハビリセンター東浦和

青柳 由子 (介護福祉士)

あおぞら元郷

江森 多位子 (介護福祉士)

リハビリの家北浦和

谷口 由美子 (機能訓練指導員)
 齋藤 美海 (介護スタッフ)

あおきさん家浦和南

鈴木 清美 及川 友美 平山 民代 (介護福祉士)
 安達 正寛 宇田川 一美 島田 悦子
 伊藤 尚子 国岡 真由樹 (介護スタッフ)

よろしくお願いたします！！

グループホーム 「あおきさん家 浦和南」

開設



平成31年4月1日付けで、さいたま市南区円正寺に青木会で最初のグループホーム「グループホームあおきさん家 浦和南」を開業しました。当法人は「サービス付き高齢者向け住宅」と「特定施設入居者生活介護(介護付き)」の住宅系サービスを合わせて4棟運営しており、その総称として「リハビリの家」という名称を用いておりますが、グループホームでは「あおきさん家」という新しい青木ブランドを立ち上げました。

グループホームと他の施設の違いは何？という方は「グループホームとは」という内容を「あおきだより Vol.19」にて簡単に説明しておりますので是非ご覧ください。

今後も地域密着型サービスとして地域の皆さまのご理解ご支援のもと、「あおきさん家」が地域に貢献できるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事業所名：認知症対応型共同生活介護 あおきさん家浦和南

所在地：さいたま市南区大字円正寺519-6

TEL: 048-762-8835 FAX: 048-762-8837

今号の内容

- ・第2回地域認知症セミナー&エクサドン講座開催
- ・リレーコラム：「行動の理由」
- ・ミニ健康教室：おかだ理学療法士の体操教室「攀りやすい足を卒業しましょう」
- ・お知らせ：事業所開設・事業所移転のご挨拶
 体操教室案内 新入職員ご紹介



第2回地域認知症セミナー & エクサドン講座 開催



去る3月29日、さいたま市緑区プラザイーストにて第2回地域認知症セミナーを、さいたま芸術劇場小ホールにてエクサドン講座を開催いたしました。地域認知症セミナーにおきましては第1回に続き、たくさんの方々にご出席をいただき誠にありがとうございました。簡単ではございますが当日の演題をご紹介します。また次回開催時のご来場をお待ちしております。

- 仙台富沢病院理事長・東北大学医学部臨床教授 藤井 昌彦 先生
「認知症は怖くない！認知症情動療法のすすめ」
- NPO法人日本演劇情動療法協会代表理事 前田 有作 先生
「演劇情動療法のすすめ」
- 千葉大学大学院社会科学研究院教授 小林 正弥 先生
「エクサドンの効果についての実験結果」
- 医療法人青木会 居宅介護支援事業所さいたま青木
介護支援専門員・歯科衛生士 黒田 奈緒 さん
「口腔ケア・嚥下機能と認知症について」



エクサドンとは？

「エクササイズ（運動）」＋「佐渡」＋「ドン（太鼓の音）」を合わせた造語で、2014年2月より、太鼓と芸能を愉しむ心と身体活動を中心とした健康増進、介護予防フィットネス・プログラムとして開始されました。



エクサドン（EXADON）は、心災&身災対策です。

エクサドンとは、不安症・うつ病・認知症などの「心災」と、ロコモティブ・シンドローム（運動器症候群）、メタボリック・シンドロームやこれらによって引き起こされる骨折、歩行障害、脳卒中、心筋梗塞などの「身災」をできるかぎり予防し、もし避けることができなかつたとしても、それによる苦痛や障害をできる限り少なくすること（減災）を目的とした活動です。

青木会では、今後も公益法人 鼓童文化財団に協力させていただき、エクサドンの楽しさを皆様にお届けいたします。



参加者の感想

『以前は尺八を演奏していたので音楽は昔から好きでした。今回、楽しく太鼓が叩くことができ、清々しい気持ちになりました。また機会があれば是非参加したいと思います。』

”情報トピックス”

第4回



「行動の理由」
相手の気持ちの捉え方



3月からリハビリの家川口柳崎、副施設長に就任いたしました長野と申します。今回のコラムでは、長年私が介護現場を経験して感じたことを述べさせていただきます。

私は趣味がバスフィッシング(釣り)であり、かれこれ20年以上続けていて、ライフスタイルの一部となっています。よくスタッフには『何でそんなに釣りに行くの？』と聞かれますが、『言葉の喋れない魚の気持ちがわかれば、障害や認知症でコミュニケーションが取れない方の気持ちも理解できる』と冗談ながら答えています。

しかし、これは決して間違いではなく、生きるものは必ず、意味を持って行動をします。そして、その行動理由は周りの環境や本人の性格等、様々な要因から変化します。この事は、魚でも認知症を持った方でも同様です。介護現場でよく目にするのが認知症の方に対して『何で何回もナースコールを押すの？』『何で待てられないの？』とスタッフ、または御家族が厳しい言葉を発してしまうケースです。忙しい現場の状況、人員不足等の問題もありますが、まず考えなければならない事は、その行動の理由を知る事です。

私の体験談を取り上げますと、夕方になると表情が陰しくなり、施設の外に出ようとしてしまう利用者様がありました。本人に聞いても理由ははっきりとしませんでした。ご家族からの情報では『家事を完璧にこなす人だった』との事で、「夕食等の準備をしなれば」と気持ちが焦っているのではと考え、簡単なスタッフのお手伝いをいただく事で症状が緩和されました。

このように、その方を色々な視点から理解する事で対応を変えるきっかけを作ることが大切だと思います。今後も、利用者様お一人おひとりに合った関わり方ができるように努めてまいります。

リハビリの家川口柳崎 副施設長 長野 広樹

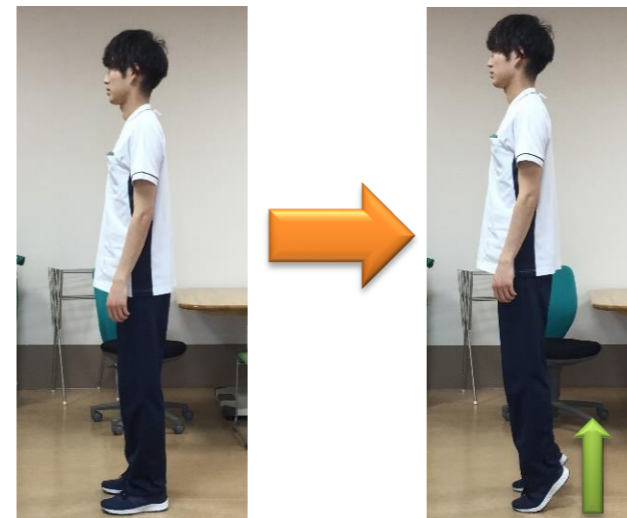


おかだ理学療法士の ミニ健康教室

つ 縛りやすい脚を卒業しましょう!!

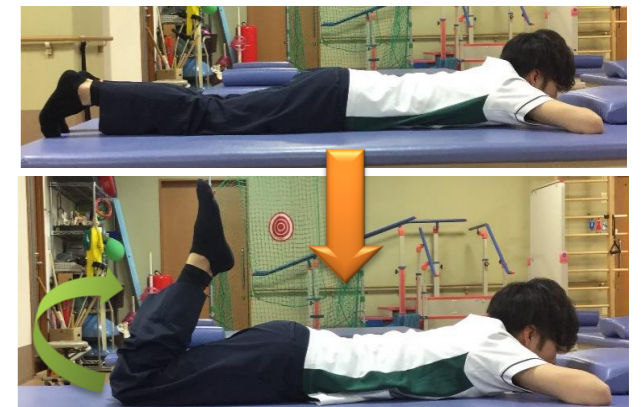
ふくらはぎの筋肉を鍛える運動

1. 足は肩幅の広さに開く
 2. 背筋をしっかりと伸ばして、つま先で立つよう踵を上げていく
 3. 限界まで踵上げ1秒間キープします。
 4. その後、ゆっくりと踵を下ろします。
- ※ふらつきがある方は壁や手すりを把持して行う。



太もも裏の筋肉を鍛える運動

1. うつ伏せになります。
 2. かかとをお尻に近づけるように膝をゆっくり曲げていきます。
 3. その後、ゆっくりと戻していきます。
 4. この動作を20回繰り返します。
- ※連続して行うのが難しければ休みながら行う。



青木中央クリニック
リハビリテーション科
岡田浩輝

